

島根県歯科医師会  
令和2年度 事業報告書 (R2.4.1~R3.3.31)

**【継続事業1】島根県口腔保健センター運営事業** (東部・西部口腔保健センター運営部)

(1) 心身障がい児(者) 歯科診療事業 (島根県からの補助事業)

島根県から補助を受け、一般の歯科医院では治療を受けることが難しく、より専門性の高い歯科診療、および障がいの知識とそれぞれに応じた対応が要求される心身障がい児(者) 歯科診療について、会員より専属の診療部員及び歯科衛生士を配置し、下記の通り診療を行った。

東部口腔保健センター 診療日数：47日 延患者数：679名 延従事者数：歯科医師141名・歯科衛生士327名

西部口腔保健センター 診療日数：47日 延患者数：256名 延従事者数：歯科医師94名・歯科衛生士94名

ともに基本的に毎週木曜午後に診療を行っている。

(2) 口腔疾患予防措置及び歯科健康相談事業 (8020 歯の健康相談)

口腔保健センターの診療部員が、毎週木曜日の午後に、フッ化物塗布、初期う蝕(むし歯)の処置等の口腔疾患予防措置・歯科保健指導及び各種相談の受付・助言を行った。

(3) 歯科健康診断事業

心身障がい児(者) 施設から要請を受け、口腔保健センターの診療部員に協力を依頼し、歯科健診を行った。健診結果により治療勧告を行い、口腔保健センター、またはかかりつけの歯科医院で治療をしてもらうよう歯科受診を促し、口腔衛生の向上を図った。

また施設から口腔に関する健康講座や口腔ケア研修会の講師依頼があり、診療部員あるいは歯科衛生士を講師として派遣した。歯磨きの必要性や口腔保健の重要性について施設の利用者と介護者にわかりやすく講話や実習を行った。

東部口腔保健センター 歯科健診 延受診施設：3施設 延受診者数106名

西部口腔保健センター ブラッシング指導・歯科健診 1施設1回開催 延受講者数32名

**【継続事業2】歯科医学・医術の振興、歯科保健の推進及び普及啓発・コンクール並びに調査研究、適切な歯科医療管理の指導、歯科医療情報の提供を行い、公衆衛生の普及向上に資する事業** (学術部、地域保健部、地域福祉部、学校歯科部、広報部、社会保険部、医療管理部、情報管理・危機対策部、医事対策部、西部会館運営部)

(1) 歯科医学・医術振興事業

島根県歯科医学会・学術講演会・西部会館臨床懇話会・法歯学講演会・口腔保健センター研修会・摂食嚥下支援研修会

歯科大学の教員や著名な臨床医を講師に迎え、時代に即した歯科医学をテーマに講義を受ける島根県歯科医学会、また会員による症例報告・研究発表、意見交換を行う学術講演会を開催した。

臨床懇話会は、西部会館運営事業の一環として歯科大学の教員や臨床医を講師に迎え、ニーズに即した研修テーマに講義を受ける懇話会を開催した。

歯科法医学講演会は、島根県警察歯科医会として島根県警察本部と島根県歯科医師会との連携を図るため、講演を法歯学に絞り、歯科医学における個人識別の知識を深め、歯牙による身元不明者の鑑定等に寄与している。

口腔保健センター研修会は、センター運営事業の一環として、心身障がい児(者) 歯科医療、福祉における学術及び技術の研鑽を目的として著名な臨床医等を講師に迎え、研修会を開催する予定である。また、障害者歯科診療に従事するスタッフや歯科医療従事者に向け、新型コロナウイルス感染症への対策(スタンダードプリコーションの順守)についての勉強会と、患者急変等不測の事態への対応についての普通救命講習会を「センター救命救急研修会」として同日開催した。

摂食嚥下支援研修会は、摂食嚥下障害患者を地域でマネジメントすることを目的に、VE実技の目標である栄養管理に目を向け、摂食嚥下障害へのチームとしての取り組み(ミールラウンドと食支援)について学び、この研修会を機会に地域の摂食嚥下患者を支援する体制作りについて考えるため、医療関係者にも周知して開催した。

なお、この度は、口腔保健センター研修会と摂食嚥下支援研修会は併催して開催した。

島根県歯科医学大会

メインテーマ

「人に寄り添う歯科医療」

日 時	令和2年12月13日（日）10：00～15：45
会 場	Webex（オンライン研修） 松江市南田町141-9 島根県歯科医師会会館 浜田市久代町1-8 島根県歯科医師会西部会館
特別講演	「島根県での連携完結型歯科口腔外科学の推進」 島根大学医学部医学科・大学院医学研究科 歯科口腔外科学講座 教授 管野 貴浩 先生
会員発表	1. 固形癌骨転移患者へのデノスマブ投与におけるデノスマブ関連顎骨壊死の危険因子に関する後ろ向き観察研究 大熊 里依（島根大学医学部歯科口腔外科学講座） 2. 島根県横南町での高齢者における歯数と骨密度との関連性：横断的調査研究 竹田 茉由（島根大学医学部歯科口腔外科学講座） 3. 高齢者の口腔機能低下と主観的健康感との関連について ～平成28年度益田市日常生活圏域ニーズ調査から～ 齋藤 寿章（益田鹿足歯科医師会） 4. 中山間地域から始まる歯科医師過剰問題のパラダイムシフト ～歯科のみらいシミュレーション～ 澄川 裕之（島根県歯科医師会医療管理部委員会） 5. 「規格化弁当プロジェクトにおける、咀嚼能力検査の比較検討」 梶原 光史（島根県歯科医師会地域福祉部委員会） 6. 新型コロナウイルス感染症下における学校歯科保健活動 園田 真之（島根県歯科医師会学校歯科部委員会） 7. 島根県歯科医師会におけるWebexの活用と画質向上への検証 田原 清隆（島根県歯科医師会広報部委員会） 8. 島根県県立中央病院で行っている歯科医師初期臨床研修のこれまでと今後 尾原 清司（島根県立中央病院） 9. 上顎中切歯歯根破抜歯のInterdisciplinary approach 症例 齋藤 誠（さいとう歯科医院） 10. 萌出障害を見逃さずに対応した1例 尼ヶ崎 知也（あま歯科クリニック） 11. 山間地歯科診療所における保険診療の現状 大庭 雅司（大庭歯科医院）
参加者数	東部会場：40名 西部会場：4名 Webex：55名

学術講演会（歯科補綴関連の生涯学習公開セミナー）

日 時	令和2年10月11日（日）10：00～12：00（9：30～受付）
会 場	Webex（オンライン研修） 松江市南田町141-9 島根県歯科医師会会館 浜田市久代町1-8 島根県歯科医師会西部会館（TV）
テーマ	「CAD/CAM冠を極める」
演題・講師	「保険適用CAD/CAM冠による治療について-概要および適応症から形成・印象-」 広島大学病院咬合・義歯診療科 外来医長・診療准教授 安部倉 仁 先生 「脱離を最小限に抑えるCAD/CAM冠装着の知識と術式」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 インプラント再生補綴学分野 准教授 前川 賢治 先生
参加者数	東部会場：15名 西部会場：8名 Webex：35名

西部臨床懇話会

日 時	令和2年11月8日（日）9：30～12：00
会 場	オンライン研修
演題・講師	『根面う蝕の予防と最新の接着修復』 ー根面う蝕を考えるー 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯科保存修復学分野 教授 吉山 昌弘 先生
参加者数	41名

歯科法医学講演会

日 時	令和2年11月15日（日）9：50～12：00
会 場	松江市南田町141-9 島根県歯科医師会会館 浜田市久代町1-8 島根県歯科医師会西部会館
演題・講師	リモート演題 「歯科情報からわかる子ども虐待の徴候 - 虐待の発見と支援のために -」 講師 日本歯科大学生命歯学部歯科法医学講座 教授 都築 民幸 先生
参加者数	東部会場：50名（歯科関係16名、警察27名、行政7名） 西部会場：18名（歯科関係7名、警察9名、行政2名）

口腔保健センター研修会

口腔保健センター研修会：訪問歯科診療について、また、医療的ケア児への対応、障害者歯科医療の実際等について研修を行った。（摂食嚥下支援研修会併催）

日 時	令和3年1月24日（日）9：20～11：30
会 場	・Webex ・島根県歯科医師会館（松江市南田町141-9）定員70名 ・島根県歯科医師会西部会館（浜田市久代町1-8）定員18名
演題・講師	講演：「オンラインで学ぶ訪問歯科診療の up to date」 第1部：かかりつけ歯科医院と地域多職種連携 第2部：障害児者への訪問歯科診療、摂食嚥下マネジメントについて 講師：医療法人メディエフ 寺嶋歯科医院 副院長 歯と口の機能支援センターみのお センター長 松野 頌平 先生
参加者数	76名 （歯科医師40名、歯科衛生士18名、介護支援専門員6名、管理栄養士4名、保健師2名、生活支援員1名、看護師3名、ヘルパー1名、職種不明1名）

令和2年度口腔保健センター救命救急研修会（勉強会を併催）

勉強会：東部口腔保健センタースタッフを中心に会員にも周知し、新型コロナウイルス感染拡大防止について再確認と感染対策に対する研鑽のために勉強会を開催した。

日 時	令和2年12月20日（日）11：00～12：00
会 場	松江市南田町141-9 島根県歯科医師会会館 Webex
演題・講師	『新型コロナウイルス感染症拡大防止』 講師：島根県歯科医師会 情報管理・危機対策部 理事 上田 雅 康
参加者数	合計58名 （歯科医師40名、歯科衛生士12名、歯科技工士2名、歯科助手4名）

口腔保健センター研修会・普通救命講習会：

普通救命講習会：臨床現場での医療安全確保のため、医療従事者には定期的な救命講習会の受講が望まれることから病院歯科での実際等について研修会を開催した。

日 時	令和2年12月20日（日）9：30～11：00
会 場	松江市南田町141-9 島根県歯科医師会会館 Webex
演題・講師	演題：『小児・有病者における診察時の注意点と対応』 講師：松江赤十字病院 歯科口腔外科部長 田 窪 千 子 先生
参加者数	合計 58 名 (歯科医師 40 名、歯科衛生士 12 名、歯科技工士 2 名、歯科助手 4 名)

#### 摂食嚥下支援研修会

摂食嚥下障害について、基本的な知識を共有し、今回は喉頭内視鏡（Video Endoscope：VE）実技の最終目標である栄養管理に目を向け、ミールラウンド等食支援を中心に多職種連携の必要性についての研修会を行った。また、この研修会を機会に地域の摂食嚥下を支援する体制作りのきっかけとなるべく、医師・看護師等の医療従事者にも周知、歯科医療関係者以外の職種が参加して開催した。

日 時	令和3年1月24日（日）11：40～13：30
会 場	・Webex ・島根県歯科医師会館（松江市南田町141-9）定員70名 ・島根県歯科医師会西部会館（浜田市久代町1-8）定員18名
演題・講師	11：40～12：00 <b>研修Ⅰ</b> 「安全に食べるための食支援～口から食べることを みんなで支える～」 講師：フリーランス 訪問歯科衛生士 中 村 みどり 先生 12：00～13：30 <b>研修Ⅱ</b> 「ミールラウンドのすすめ ～みんなで考える経口維持加算～」 講師：吉川歯科クリニック 院長 吉 川 浩 郎 先生
参加者数	90名 (歯科医師43名、歯科衛生士20名、介護支援専門員9名、管理栄養士6名、保健師2名、生活支援員4名、医師1名、看護師3名、ヘルパー1名、職種不明1名)

#### 認知症対策事業

歯科医師認知症対応力向上研修※について、例年下記の目的により、県と共催のもと開催してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から開催を見送った。その他、歯科診療及び窓口で認知症が疑われる患者のチェックシート作成により、適切に関係機関と連携するための情報提供文書を整備し、研修会及び本会HPにて周知を行っている。今後の研修会の開催方法、受講者増についての検討のために地域福祉部委員会内において認知症対策検討会を開催した。

##### 【歯科医師認知症対応力向上研修※・開催目的】

島根県主催、本会共催により、高齢社会であるわが県において、認知症の早期発見が重症化予防につながることから、認知症対策として認知症患者への理解と対応力の向上のために開催している。

#### (2) 歯科保健活動助成事業

県内の歯科保健推進のため、島根県歯科衛生士会に活動助成金を交付した。

#### (3) 歯科保健推進事業（島根県からの受託事業）

##### 1) 在宅歯科医療連携室整備事業

在宅等で寝たきり高齢者等歯科治療を受ける機会を得にくい方の口腔機能の回復を図るため、在宅歯科医療についての相談等の窓口を設置し、住民や在宅歯科医療を受ける者・家族等のニーズに応え、地域における在宅歯科医療の推進および他分野との連携体制の構築を図った。

また、連携室活用の普及、周知、在宅歯科医療の推進とその問題点等への対応の検討について関係者とともに運営委員会を1回開催した。

「連携室広報チラシ」の作成・発行

5,000部作成（令和3年3月末発行）。

配付先：本会会員・島根県健康福祉部健康推進課・島根県健康福祉部高齢者福祉課・県内各保健所・各市町村高齢者福祉課・県内各医師会・島根県老人保健施設協会・島根県老人施設協議会・特定非営利活動法人 島根県介護支援専門員協会・県内各訪問看護ステーション・県内各地域包括支援センター・島根県歯科衛生士会・居宅介護支援事業所

地区歯科医師会に向けて、今後の地域包括ケアシステム構築のために、行政、施設等の長に呼びかけ、歯科について求められていること、訪問歯科診療の推進について、などを協議していただくよう「地域包括口腔ケア会議」の開催を依頼した。

各地区での会議の状況等の報告と情報共有の総括として、「島根県地域包括口腔ケア連絡会議」を令和3年3月7日（日）に開催した。

● 地域包括口腔ケア会議開催

- 1) 松江地区 書面開催
- 2) 安来地区 開催なし
- 3) 雲南地区 令和3年2月5日（金）
- 4) 出雲地区 令和3年1月21日（木）
- 5) 大田地区 令和3年2月17日（水）
- 6) 邑智地区 令和3年3月4日（木）
- 7) 浜田江津地区
  - ① 浜田市 令和3年2月18日（木）
  - ② 江津市 令和3年2月10日（水）
- 8) 益田鹿足地区 書面開催
- 9) 隠岐地区 開催なし

※安来・隠岐地区は既存の会議に議題提議し、開催とした。

2) 歯科保健推進事業

全ての県民が、生涯にわたって、自ら適切な歯科口腔保健行動（予防行動・受診行動）を起こすことができるよう、正しい知識の普及啓発等、歯と口腔の健康づくりの取組を推進する。

- 障がい者グループの歯と口腔の健康づくり体験の実施：障がい者グループ等を対象とした歯と口腔の健康づくり体験教室（東西部口腔保健センターを利用し「噛ミング30ミュージアム」の開催

(1) 令和2年度東部センター実施 噛ミング30ミュージアム申し込み状況及び日程等一覧

日程決定	事業所名	引率人数	対象者人数	人数合計	実施日合計 引率・対象者	備考
令和3年2月3日	NPO なないろ	1	3	4	11	知的障害
令和3年2月3日	若草園	2	5	7		知的障害
令和3年2月10日	特定非営利活動法人みずき 生活介護事業所はなみずき	5	7	12	12	てんかん、知的障害あり、うち車いす使用者3名
令和3年2月17日	特定非営利活動法人こだま	1	4	5	11	知的障害、てんかん、ダウン症、身体障害うち車いす使用者2名
令和3年2月17日	若草園	2	4	6		知的障害
合計		11	23	34	34	

(2) 令和2年度西部センター実施 嚙ミング 30 ミュージアム申し込み状況及び日程等一覧

日程	事業所名	引率 人数	対象者 人数	実施日 合計 引率・対象者	備考
令和3年2月3日	社会福祉法人 いわみ福祉会 桑の木園	1	3	4	知的障害
令和3年2月10日	特定非営利活動法人 石州きずなの里	2	3	5	知的障害
令和3年2月17日	地域活動支援センター ハートフルみずほ	1	5	6	
合計		4	11	15	

● 糖尿病の医科歯科薬科連携体制の強化；薬局を活用した歯科受診勧奨・研修の開催

(1) 連携ツール（おくすり手帳に貼付するセルフチェックシール、歯科医院受診時に貼付する他科受診勧奨シール等）の作成。

(2) 糖尿病の医科歯科薬科連携体制強化事業における事業説明および勉強会の開催

昨年度実施した益田地区（R3.1.7）、新たに浜田（R3.1.28）、大田（R3.3.9）、出雲（R3.3.16）で開催した。

日時	[1] 令和3年1月7日（木）19：00～20：00 [2] 令和3年1月28日（木）19：00～20：30 [3] 令和3年3月9日（火）19：00～20：35 [4] 令和3年3月16日（火）19：30～21：00
会場	[1] 公益社団法人 益田市医師会立益田地域医療センター医師会病院 第1会議室 [2] いわみーる 401研修室 [3] 島根県立男女共同参画センター あすてらす 研修室1・研修室2 [4] ビッグハート出雲 白のホール
講師	[1] 地域保健部副委員長 小村 尚徳 先生 [2] 地域保健部常任委員 宮本 康一郎 先生 [3] 地域保健部常任委員 景山 景 先生 [4] 地域保健部副委員長 宮松 伸也 先生
内容	1) 糖尿病の医科歯科薬科連携体制強化事業における事業説明および歯周病に関する講演 2) 質疑応答
備考	益田地区においては、モデル事業の評価検証のため実施予定。 なお、今年度開催する事業説明および勉強会は、基本内容は統一した内容で実施する（1月7日開催の益田地区と同じ内容で行う）。

● 県民残存歯調査

島根県歯と口腔の健康を守る8020推進条例に基づき、残存歯数や歯周疾患罹患状況、嚙み合わせ等を把握するとともに、年齢や全身疾患等との関わり等について分析を行い、第2次島根県歯と口腔の健康づくり計画の評価及び次期歯科保健計画に反映させる。併せて、今後の歯科保健対策の企画及び事業化の基礎資料とする。

調査協力機関数；195、協力患者数；来院 34,040名・訪問 540名（疑義のあるデータも含む）

その他、市町村歯科健診等受診者も含め、調査結果を報告書にまとめている。

(ア) 在宅歯科医療推進対策事業

在宅歯科医療を含む、地域における歯科医療を推進するための人材育成を図る。

(1) 訪問歯科医療連携に関する研修の開催（訪問歯科診療に携わる歯科医療従事者等関係者を対象とした、訪問歯科医療連携に関する基礎研修の開催）

(2) 障がい児者に関わる機会のある関係者を対象とした研修（歯科専門職及び医療・介護・福祉関係者を対象とした）

● 経口摂取支援研修会

例年、「島根県経口摂取支援協議会」を広く県下にアピールするとともに、関連各職種が他職種の技能を理解し、現場での連携に活用できる情報を提供することにより、多職種連携による在宅歯科医療の推進を目指して開催しているが、今年度は、前年度委託事業により作成した介護者向け口腔ケアツールを用いて「使ってみよう！介護者向け口腔ケアツール」をテーマに周知と活用方法についての研修会を開催する。開催方法、内容の検討のため「経口摂取支援研修会（介護者向け口腔ケアツール研修会）検討委員会」を1回開催した。

日 時	令和3年2月14日（日）9：20～
会 場	Webex
演題・講師	<p>9：20～9：30 開会行事</p> <p>9：30～9：50 序章：口腔ケアの押さえどころ！ —介護者向け口腔ケアツールの概要・口腔ケア時の感染予防等について— 講師：島根県歯科医師会 理事・地域福祉部委員長 井上幸夫</p> <p>9：50～10：10 1. 「口腔ケア時の姿勢のポイント」について 講師：島根県理学療法士会 会員 足川和隆先生</p> <p>10：10～10：30 2. 「口腔ケアの実際」 口腔ケアを行う前に…／実際に口腔ケアをやってみましょう。 口腔ケアが困難な方は…・保湿・歯みがきのポイント 講師：島根県歯科衛生士会 理事 石田陽子先生</p> <p>10：30～10：50 入れ歯のとりはずし方・清掃のポイントについて 講師：島根県歯科医師会 地域福祉部副委員長 梶原光史</p> <p>10：50～11：10 3. 認知症の方を口腔ケアに誘うときのポイント 講師：島根県看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師 宍道洋五先生</p> <p>11：10～11：30 4. 嚥下障害がある方に対する口腔ケア 講師：島根県言語聴覚士会 会員 清原圭介先生</p> <p>11：30 閉会</p>
参加者数	71名（歯科医師27名、歯科衛生士20名、医師1名、看護師3名、介護支援専門員10名、介護福祉士2名、言語聴覚士4名、病院・施設職員1名、管理栄養士1名、職種不明2名）

● 特別対応歯科研修会

前年度の島根県委託事業により、東部口腔保健センターが中心となり、島根県下における障がい児・者の歯科診療の受け入れ状況等把握のための調査事業を実施しているが、その結果「指示が通れば診療の受け入れ可能」との回答が最も多かった。一方、「歯科診療のための導入訓練、トレーニングが必要な患者の受け入れ可能」については回答数が少なかった。これを受けて、県内の歯科関係者を対象とし、地域の障がい児・者へ、よりスムーズな歯科医療提供につなげるため、在宅歯科医療普及啓発と人材育成を目的として障がい児(者)に関わる機会のある関係者のうち、この度は歯科医療従事者に対して研修会を開催した。

また、研修会の開催内容の検討、総括を兼ね、検討会を3回開催した。

日 時	令和2年9月6日（日）9：20～12：00
会 場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Webex</li> <li>・ 島根県歯科医師会館（松江市南田町141-9）定員70名</li> <li>・ 島根県歯科医師会西部会館（浜田市久代町1-8）定員18名</li> </ul>
演題・講師	<p><b>事業報告：「特別対応歯科診療所調査事業報告」</b> 講師：島根県歯科医師会東部口腔保健センター診療部長 吉川浩郎</p> <p><b>基調講演：『障がい児者診療の「はじめの1歩」</b> —地域の歯科医院だからこそできること』 講師：こども歯科じゅんこクリニック 院長 徳富 順子先生</p>
参加者数	65名（内訳：歯科医師51名、歯科衛生士13名、歯科助手1名）

4) 口腔機能維持管理研修事業

歯科保健従事者及び医療・介護・福祉・学校等の関係者を対象とした研修の開催等により、関係者の知識や技術の獲得を促進するとともに育成を行い、口腔機能の維持・向上を図る。

(1) 歯周病予防管理研修

歯科専門職、医療・福祉関係者及び学校・保育所関係者等の歯科保健に関わる者を対象として、歯周病予防、歯科口腔衛生、口腔機能等に関する研修を行う。

歯科保健従事者研修事業

スポーツに起因する外傷や障害は、スポーツ本来の目的である「健康の維持・増進」や「体力の向上」に反するもので、その予防対策は必要なことです。

顎口腔領域のスポーツ外傷による後遺症は、肉体的・精神的なダメージとして社会生活を営む上で極めて重要で、特に頭頸部への衝撃により発生する脳震盪を含めた脳神経細胞障害などは、選手生命に関わることになりかねません。

また、低年齢層における顎口腔系への外傷も学校歯科保健においては大きな問題となります。そして、受傷以降のスポーツに対する姿勢、スポーツパフォーマンス・栄養摂取等に影響を及ぼすことも予想され、スポーツ外傷に対してはその処置は勿論のこと、いかに予防するかが重要であり、どのようなスポーツでも安全であってこそ「健康スポーツ」なのです。

以上のことより、スポーツ外傷予防には顎口腔領域を守り、将来の健全な顎口腔系の成長を維持するという大きな意味があると考えており、この予防対策が成人期以降の歯の喪失、歯周病の予防にも繋がることを期待し、令和2年11月12日(木)オンラインにて歯科保健関係者71名の出席により実施した。

歯科保健従事者研修会

日 時	令和2年11月12日(木) 14:00~16:30
会 場	オンライン研修
内 容	1) スポーツと歯科の関わりについて ~スポーツデンティストの立場から~ 2) 学校歯科部からのお知らせ 3) 事前質問への回答
講 師	1) 前田歯科医院(大田市開業) 院 長 前田憲邦 先生 2) 島根県歯科医師会 学校歯科部 常任委員 鐘築 剛 氏
参加者数	合計;71名(うち、歯科医師;24名、歯科衛生士;3名、養護教諭・保健師他44名)

5) 高齢者の低栄養予防対策事業

平成24年度より県の委託事業として取り組んでいる。

平成28年度島根県後期高齢者歯科口腔健診受診者における咀嚼能力とRSST変法の関連性を分析し、また、後期高齢者の咀嚼能力低下と体格指標(体格指数: BMI・下腿周囲長: CC)・血中脂質との関連について検討した研究結果を2020年11月7日(土)・8日(日)にWeb開催された老年歯科医学会第31回学術大会にてポスター発表を行った。

さらに、「後期高齢者における低咀嚼群と健康状態の関係について-平成29年度島根県後期高齢者歯科口腔健診(LED0健診)データ分析-」として、2020年12月1日(火)~15日(火)にWeb開催された第7回日本サルコペニア・フレイル学会にてポスター発表を行った。

今年度の研修会は、弁当摂食と口腔機能について取り上げて開催した。

「地域高齢者等の健康支援を推進する配食事業の栄養管理の在り方検討会報告書」(厚労省平成29年)によると、利用者等が配食を適切に選択・利用できるようにするために、事業者、国及び自治体が行うべき事項が定められており、かかりつけ歯科医は食事の調整の必要性の有無に関して意見を求められ、相談を受けた歯科医師は適切な情報提供が必要とされているが、特に口腔機能と食材の物性や、調理との関連付けは十分ではなく、栄養士や調理担当者の経験によるところが大きいのが現状と言える。そこで規格化された弁当を製作し、弁当の摂食状況(完食時間、咀嚼回数、嚥下回数など)を観察分析し、口腔機能(咀嚼・嚥下)と摂食機能を関連づけることを目的として「摂食機能を評価する規格化弁当の製作と評価の試み」という事業を8020推進財団の支援を得て実施した。その概要等について研修会にて報告した。

令和2年度口腔機能維持管理研修事業 高齢者の低栄養予防対策研修会

日 時	令和3年3月7日(日) 9:50~12:00
会 場	島根県歯科医師会館(松江市南田町141-9) 定員70名 島根県歯科医師会西部会館(浜田市久代町1-8) 定員18名 Webex



内容 ・講師	9:50~10:00	開会行事
	10:00~10:30	講演Ⅰ 演題『認定栄養ケア・ステーション@三河屋の新たな挑戦 ～摂食機能を評価する規格化弁当の開発～』 講師 モルツウェル株式会社 管理栄養士 平井康平先生
	10:30~12:00	講演Ⅱ 演題『摂食機能を評価する規格化弁当の製作と評価の試み』 講師 一般社団法人 島根県歯科医師会 地域福祉部委員会 副委員長 富永一道
	12:00	閉会
参加者数	約 71 名 (歯科医師 32 名、歯科衛生士 5 名、医師 3 名、管理栄養士 35 名、保健師 2 名、職種不明 1 名)	

#### 7) 歯科医療従事者人材確保対策事業

##### 歯科衛生士応援セミナーの開催

歯科衛生士の離職防止・復職支援を目的としたセミナーを開催する

日 時	令和2年8月30日(日)
会 場	松江市南田町141-9 島根県歯科医師会館(オンライン研修)
講 師	株式会社Himmel 歯科衛生士 杉元信代先生
体験報告	足立歯科医院 歯科衛生士 難波美咲氏
参加者数	80名

##### 歯科医院管理研修会

歯科衛生士の離職防止を目的に、歯科医師を対象としたセミナーを開催

##### 歯科医院管理講演会

日 時	令和2年8月30日(日)
会 場	松江市南田町141-9 島根県歯科医師会館(オンライン研修)
講 師	株式会社Himmel 歯科衛生士 杉元信代先生 島根働き方改革推進支援センター 特定社会保険労務士 安食賢先生
参加者数	23名

##### 歯科技術専門学校の学生との交流・意見交換会の開催

県西部の歯科衛生士及び歯科技工士確保対策として、県西部の歯科医療機関において県内外の学生を受け入れ、「地域歯科医療体験ツアー」を実施。

実施時期：令和2年7月～令和3年3月末の1日半程度

実施地区	参加者数	受入機関数
大田地区	1 (DH)	1
邑智地区	1 (DH)	1
浜田江津地区	1 (DH)	1
益田鹿足地区	2 (DH、DT)	4

#### (4) 歯科保健普及啓発事業

##### 1) 県民公開講座の開催 新型コロナウイルス感染症流行のため中止

##### 2) 後期高齢者歯科口腔健診事業への取組

平成26年度より健診票様式の整備、健診内容について島根県後期高齢者医療広域連合と協議、検討し、各地区歯科医師会へ協力を呼びかけ、円滑な事業実施のための体制強化をはかった。

平成27年度からは本格実施され、実施状況から、市町村、地域住民、会員の意見と社会の現状について、島根県後期高齢者医療広域連合と次年度に向けて定期的に協議・調整を図っている。また、健診内容の確認等のため例年、事業実施前に、会員、協力歯科医院へ研修を行っている。

その他概要として、平成28年度からは地域の要介護高齢者に対して、訪問による歯科口腔健診の実施が一部市町村にてモデル的に実施された。平成29年度は出雲市、海士町、知夫村を除いた市町村にて訪問健診が実施、平成30年度は出

雲市でも実施され、本会会員が協力している。

令和元年度においては後期高齢者歯科口腔健診をベースとして対象者を抽出し、県内4市で専門職による訪問指導、通いの場などを利用してフレイル・低栄養改善事業を実施しており歯科も協力している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施期間の延期等があったが、10月から2月末で実施し、下記日程で研修会を開催した。また、後期高齢者歯科口腔健診で得られたデータをもとに、益田市、大田市、江津市、雲南市にて高齢者の低栄養・重症化(フレイル予防)予防事業を実施している。

日時	令和2年9月6日(日) 13:00~14:45
会場	島根県歯科医師会館(松江市南田町141-9) 島根県歯科医師会西部会館(浜田市久代町1-8) ※【Web会議システム中継】 Webex
研修内容	13:00~13:10 開会行事 13:10~13:30 研修1:後期高齢者歯科口腔健診概要について 島根県歯科医師会 地域福祉部委員長 井上幸夫 13:30~14:00 研修2:後期高齢者歯科口腔健診内容・趣旨について 島根県歯科医師会 地域福祉部副委員長 富永一道 14:00~14:15 研修3:後期高齢者歯科口腔健診に係る事務手続きについて 島根県後期高齢者医療広域連合担当者 14:30~14:45 島根県歯科医師会会員限定研修 社会保険部より情報提供 島根県歯科医師会 社会保険部委員長 青戸弘陽 14:45 閉会
参加者数	152名 【内訳】歯科医師94名、歯科衛生士38名、受付・事務等8名、保健師4名、行政職員1名、広域連合職員4名、介護支援専門員1名、社会福祉士1名、不明1名

### 3) 保健指導教材(パネル、器材等)貸出事業

歯科保健の指導啓発の促進

### 4) 歯科保健パンフレット等提供事業

歯科保健の普及啓発の促進

## (5) 歯科保健コンクール事業

### 1) 親と子のよい歯のコンクール事業、8020 よい歯のコンクール事業

親と子のよい歯のコンクール

新型コロナウイルス感染症流行のため次年度へ延期

毎年、6月の「歯と口の健康週間」に併せ、3歳児歯科検診受診者とその親(父または母)より、口腔内状況の優秀な親子を選定基準に基づき各保健所より推薦いただき、島根県と書類審査及び、最終審査(口腔内審査)・表彰し中央審査会へ推進する。

### 8020 よい歯のコンクール事業

満80歳以上で自分の歯を20本以上保持し、口腔の健康管理に努力され、社会参加活動に意欲的な方を対象に会員歯科診療所で口腔内診査(無料)を行い、今年度の応募は118名であった。島根県と協力しながら公正な審査を実施し、1名の最優秀者と3名の優秀者の被表彰者を決定した。表彰式は令和2年11月19日に島根県庁知事室で執り行われた。被表彰者を公表することにより、生涯を通して歯科保健に対する関心を高め、もって県民の健康増進を図った。

2) 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール事業、歯・口の健康啓発標語コンクール事業

次の世代を担う学童期からの歯科保健意識の定着と、より一層の公衆衛生の機運醸成を図り、口腔保健に関する認識を高める目的をもって毎年実施している。

県内の幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校から公募し、島根県教育委員会と公正な審査を実施、被表彰作品を決定・表彰を行った。また、本会広報誌「島根歯科」に掲載、親と子のよい歯のコンクール表彰式に併せ展示している。

図画・ポスターについて、小学校2点、中学校1点の作品を中央審査会に推薦した。

標語コンクールについては、全国で最優秀賞に輝いた1作品は、次年度の「歯と口の健康週間」の標語として使用される。

(6) 歯科医療管理事業

1) 医療管理講演会

会員に対し、感染予防に関する講演会を開催した。

日 時	令和2年7月16日(木)
会 場	島根県松江市南田町141-9 島根県歯科医師会館(オンライン研修)
演 題	「診療用放射線の適正管理について」
講 師	島根県歯科医師会医療管理部常任委員 朝比奈 圭 先生
参加者数	85名

2) HIV/AIDS 講演会

会員に対し、感染予防に関する講演会を開催した。

日 時	令和3年2月28日(日)
会 場	島根県松江市南田町141-9 島根県歯科医師会館(オンライン研修)
演 題	「HIV/エイズの基礎知識ー歯科診療に関わる先生方にお伝えしたいこと」 「HIV 歯科医療体制構築の活動状況について～島根県の現状～」
講 師	島根大学医学部附属病院 輸血部 副部長 井上 政 弥 先生 島根県歯科医師会医療管理部常任委員 藤江 徹 先生
参加者数	37名

3) 歯科医療調査

よりよい診療所を目指すため、会員の診療実態・意識・保険医療制度改定時の対応状況などを調査・研究し、公表する。

なお、上記の何れも地域に身近で安心・安全な診療所を目指し、地域歯科医療の資質向上を図ることにより、公衆衛生の普及向上を目的としている。

4) 医事対策事業

会員及び医院スタッフを対象に、良質でより効果的な医療を提供するため、普段からの診療に対する心構えや備え、また、インフォームド・コンセントの励行等、患者との意思の疎通や信頼関係を構築し、医療上のトラブルを防止するためさまざまな観点からの留意点等に関する情報提供をする。

(7) 歯科医療情報提供事業

県内の会員歯科診療所検索マップ、東部・西部口腔保健センター診療案内、歯と口の健康づくり情報、イベント予定など、総合的な歯科医療情報を提供するホームページの運営を行う。併せて、本会の活動状況を内外に周知する広報誌「島根歯科」を毎月発行し、会員及び関係機関に配布した。

会報「島根歯科」の発行(毎月20日発行 年12回)

会議・研修報告及び研修会案内、診療にかかる各所からの通知、地区歯科医師会からの報告、会員同士の情報交換のための報告等を掲載。会員の他に県庁、関係諸団体、全国歯科医師会に送付している。

歯科保健啓発リーフレット「歯っぴー島根」の発行（年2回）

会員診療所に配布するとともに、データをホームページに掲載している。県内全市町村の歯科保健担当者に文書周知している。

- ◇ 「歯っぴー島根 vol.17」 令和2年5月発行
- ◇ 「歯っぴー島根 vol.18」 令和2年10月発行

メルマガ「しまねDH通信」の配信

歯科衛生士不足解消の一助とするためメルマガを発行している。歯科に関する身近な情報や研修会案内を発信し、在宅歯科衛生士に向け情報発信している。

山陰中央新報別冊「りびえーる」への広告掲載について（年4回）

歯科保健啓発情報および県民公開講座の告知を掲載し、歯科保健啓発を図っている。

県民向けホームページの更新（都度更新）

- イベント情報
  - 8020よい歯のコンクール
  - ポスター・標語コンクール
- その他
  - 会員歯科診療所検索マップ
  - 島根県内の障がい者対応歯科診療所マップ
  - 歯の歴史資料館
  - 口腔保健センター診療案内
  - 歯と口の健康づくり情報
  - 歯科保健啓発およびPR動画を作成・配信
  - 歯科衛生士メルマガ登録
  - 経口摂取支援協議会
  - 「在宅連携室だより」
  - お口のトレーニングリーフレット
  - 関係職種向け情報

### 【継続事業3】 歯科技工士・歯科衛生士養成所運営事業（島根県からの補助事業）

島根県から補助を受け、歯科医療の中で必要不可欠な人材養成のため、歯科技工士（2年制）・歯科衛生士（3年制）としての必要な知識及び技能を修得させる専門学校（島根県歯科医師会立島根県歯科技術専門学校）の運営を、本会の会館2・3・4・5階に併設されている校舎で行った。（専門学校運営部）

学生状況（ ）内は留年再掲

専門課程	歯科技工士科		歯科衛生士科		
	1年生	2年生	1年生	2年生	3年生
4月7日現在	9 (0)	3 (0)	44 (1)	25 (1)	39 (0)
休学者	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
退学者	1 (0)	0 (0)	6 (1)	2 (0)	0 (0)
11月30日現在	8 (0)	3 (0)	38 (0)	23 (1)	39 (0)

#### ・就職・進学状況

歯科技工士科 3名全員内定  
歯科衛生士科 39名中36名内定

#### ・国家試験

歯科技工士科 3名全員合格  
歯科衛生士科 39名中、37名合格

### 【その他の主要な事業以外の事業】

#### (1) 会員の福利厚生事業

##### 1) 互助制度（医療管理部）

会員の相互扶助を目的に、入院見舞金、死亡弔慰金、災害見舞金を給付している。

##### 2) 勤務者表彰（医療管理部）

会員診療所の成績優秀な勤務者を対象に、表彰状を授与した。

##### 3) 定期健康診断（医療管理部）

会員診療所に従事する会員及びスタッフ等を対象として、健康を保持するため定期健康診断の受診奨励を行っている。

地 区	実施時期・日数	場 所
東 部	令和2年5月（4日間）	流通センター
中 部	令和2年11月・12月（2日間）	ビックハート出雲
西 部	令和2年10月・11月（2日間）	島根中央地域職業訓練センター
	令和3年2月（1日間）	益田商工会議所
	〃 2月（1日間）	サンマリン浜田

##### 4) スポーツフェスティバル助成

会員相互の親睦・交流・健康増進、心身リフレッシュのためスポーツ・懇親会を島根県歯科医師会、全国歯科医師国民健康保険組合島根県支部の共催で「島根県三地区対抗スポーツフェスティバル」を令和2年7月30日（木）出雲ドームにて20名の参加者により開催した。

#### (2) 地区歯科医師会連合会等関連事業

##### 新型コロナウイルス感染症流行のため野球大会中止

二地区、中国・四国地区、中国地域連合会の実施する事業に対し、円滑な運営が行なわれるよう、経費の助成を行う。また、中国地域で年1回開催される親睦野球大会に参加し、会員の健康増進や他県との交流を図る。さらに、全国、ブロック別学術講演会等開催の当番県に該当する年度は、円滑な運営を行うため実施する事業に対して経費の助成を行う。

## 【収益事業】

(1) 生命保険事務手数料

団体扱い事務に掛かる手数料。

(2) 院長退職金事務手数料

団体扱い事務に掛かる手数料。

(3) 歯科健診事業

事業所等の委託により、よい口腔機能を保ち心身の健康を維持するため、歯科健康診査を行う。

(4) 施設維持協力費

会館使用、自動販売機販売、無線基地局設置に掛かる使用料及び設置手数料。

---

## 法人会計

## 【法人の管理業務】

代議員会・理事会の開催、資産・負債の管理、事務局の運営など、法人の事業の管理を行う。